

直腸脱 治療



「直腸脱」の悩みがある人は 歴史ある肛門疾患の専門病院へ

1687年から肛門疾患の治療に携わり、代々受け継がれてきた医療に、現代の技術を取り入れながら、痛みや再発の少ない治療を目指す「木村病院」。今回は「直腸脱」について、病状や治療法、気を付けたいことなどを、2007年以降、兵庫県下トップの手術件数と実績^(※)を持つ同院外科医師・西田十紀人さんに聞きました。

木村病院

※caloo/全国病院別直腸脱の治療実績

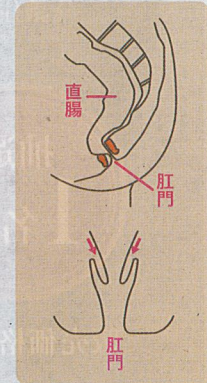
支持組織の緩みなどが原因で起る「直腸脱」

「直腸脱」とは直腸が、お尻に何かはさみ、肛門から脱出する病気。かつては、下着が汚れた状態を不完全直腸脱、直り、スッキリと排便できず、腸粘膜、直腸が引っかかり、たなかりなどの症状が繰り返り、直腸が飛び出し、肛門の外に飛び出し、脱出した粘膜から出血している状態を完全直腸脱ともいいます。原因は腸を固定している支持組織や骨盤底筋群の緩み。加齢によって起こることが多く、妊娠や出産、慢性的な便秘による長時間のいきみなども原因の一つと考えられ、高齢の女性に多く見られます。初めに多く見られます。初めに多く見られます。

完全直腸脱



不顕性直腸脱(直腸重積)



経験を重ねた外科医が行う「直腸脱」の手術

「直腸脱」は手術が唯一の治療法。日本外科学会、日本消化器外科学会認定の専門医、指導医である外科医・西田十紀人さんは、今まで勤務していた市立加西病院や明石



外科医師 西田 十紀人さん

■プロフィール
1988年、東京医科大学卒業。市立加西病院、明石市のふくやま病院などを経て、2022年10月に木村病院へ。現在、火曜と木曜午前の診察を担当し、これまでの経験から直腸脱の診断治療を中心に診察を行っています

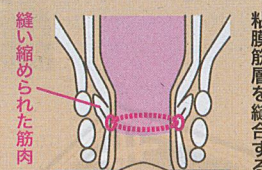


「直腸脱は命に関わる病気ではありませんが、便秘や残便感などの排便障害があったり、便漏れなどを気にして外出がおっくうになったりして日常生活が制限され、生活の質が低下してしまうことがあります。治療で生活の質を上げることを目指します」と西田さん。

生活の質を上げることを目指して治療を

「直腸脱は命に関わる病気ではありませんが、便秘や残便感などの排便障害があったり、便漏れなどを気にして外出がおっくうになったりして日常生活が制限され、生活の質が低下してしまうことがあります。治療で生活の質を上げることを目指します」と西田さん。

直腸脱の手術(デロルメ法)



筋肉層に糸をかけてアコーディオン状に縫い縮める。脱出腸管は肛門内の還納される。余剰な粘膜は切除する。

医療法人 佑健会 木村病院

姫路市南八代町5-3
☎079-296-1115

木村病院 姫路 検索

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○★	○	○★	○	○	-
14:00~18:00	○	○★	-	○	○	-	-

※月・木曜は大腸内視鏡検査 ※★印は西田十紀人医師による診察、火曜は午前10時から診察 ※受付は最終診察時間の15分前まで(午前は11:45、午後は17:45)

